

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.12
2023.06

contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。


イマジン
ロータリー
01

02
Governor's
message
ガバナーメッセージ
対談：『継続』というバトン

03
強化月間委員長寄稿
親睦活動月間に因んで

04
「ロータリー親睦活動」月間 特別企画
『私のクラブの親睦活動』
鳥山 RC 宇都宮陽北 RC 栃木南 RC
宇都宮西 RC 宇都宮陽南 RC 足利わたらせ RC
宇都宮陽東 RC 鹿沼 RC 足利東 RC

05
会長エレクト並びに幹事エレクト研修セミナー開催報告
第35回全国ローターアクト研修会 参加報告
姉妹クラブ締結40周年記念例会開催、斗六扶輪社訪問報告
RI 第2550地区ガバナー主催 第25回親善野球大会実施報告
第2550地区クラブ活性化セミナー開催報告
第34回関東ブロック研修会 参加報告
宇都宮陽東 RC 創立30周年記念行事報告
行事实施報告

06
新入
物故会員

07 主要行事予定
08 会員数報告

09
コーディネーター NEWS
ハイライトよねやま

10
財団
米山功労者

11
ガバナー
国際大会報告

12
Governor's
gallery
ガバナーギャラリー

13
編集後記





2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さ ん ぎ な お み ち
佐貫直通

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

Governor's Message

対談：『継続』というバトン

Guest

み つ い ふ く じ ろ う

三井福次郎

第 2550 地区 2022-23 年度 ガバナーエレクト
(佐野 R C)



佐貫ガバナー／国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。今年度最後のガバナーメッセージとなりました。そこで本日は、最後にふさわしいゲストをお迎えしております。2023-24 年度のガバナー、三井福次郎さんです。よろしくお願いいたします。

三井ガバナーエレクト／よろしくお願いいたします。

佐貫ガバナー／それでは三井ガバナーエレクト、自己紹介をお願いいたします。

三井ガバナーエレクト／私は佐野ロータリークラブの三井福次郎です。実は私の「三井福次郎」という名前は、今から 44 年前に名前の変更をいたしました。父が亡くなってそのあと家は名前を代々継いできたので、戸籍から変えなければいけないということで弁護士と相談しまして、裁判所に行って許可をもらい、旧姓は「ふくのり」という名前でしたが「福次郎」という名前に変更いたしました。その時「ふくのり」という戸籍のところに×をつけられるんですね。そういう意味では「バツ1」です(笑)。というのが今の私です。

佐貫ガバナーが本年度、どんなことに力を入れてきたか、それを今日は一番聞きたかったんですよ。その辺のところをお聞きした上で今度は次年度、できるものはバトンタッチしていかなければいけない、それが俗にいう「継続」ということの一つだと思っています。

佐貫ガバナー／私のほうから、この一年間ガバナー職をやってきて初めに思ったことは、とにかくガバナーとしてガバナー公式訪問でどのようなお話をしなければならないか、それを考えていたのですが、一番はやはり**会員に対して情報を共有**するということを考えておりました。その手段として月信をペーパーレスにしまして、できるだけ多くの情報を会員にわかっていたきたい、そういうことで計画を練って約 1 年前から考えておりました。その頃一番気になっていたのは、**ローターアクトクラブの問題**がありまして、規定審議会で 2019 年に大きく変わって、それがコロナの問題で前に進むことができなかった。そこでどう取り組もうかということで大いぶ悩みました。そこからスタートしてきました。また、R1 会長が女性ということもあって、我々 2550 地区は女性会員が非常に少ない、ほかの

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube
GOVERNOR'S
message





地区からみても非常に少ないということがありましたので、男性の会員もそうですが**女性会員**にある程度入会していただきたい、ということも進めなければいけないと考えてきました。そのような流れが随所に出ていたかと思います。そのほか 1 年間を通してロータリーとしてやらなければならない「月間」。この問題もありましたので、それ相応に取り組んでいかなければと思っていました。次年度においては三井ガバナーエレクトが今からお悩みのところもあると思いますが、よろしければ三井ガバナーエレクトからお話いかがでしょうか。

三井ガバナーエレクト／ありがとうございます。私も一番聞きたかったのは、今ガバナーがおっしゃったようなことで、ペーパーレス化したこの「月信」については、前々からお話をしていたので非常に興味もあつたし、今になってみると「情報の共有化」というのがいかに必要かということが身に染みてわかるようになりました。と同時に、ガバナーがいつでも頭を悩ませていたのがローターアクトのこと。これは、ヒシヒシとわかりました。女性会員の件は、時々ガバナーが「うちの 2550 地区は（女性会員の比率が）低いんだよね」というのをよくおっしゃっていたのでこの件はよくわかっているのですが、実はうちのクラブ（佐野 RC）は女性会員がゼロなんです。だから、来年はどうやってもっていかうかなと…「三井さんのところのクラブはどうなの？」と言われたら「うちはゼロです」と言うしかないのですが…。

佐貫ガバナー／ガバナー公式訪問を 1 年間やってきまして、そのような考え（女性会員の入会がない）のクラブもいくつかありますし、女性会員（の入会の推奨）にどんどん取り組んでいきたいというクラブもあるし、これから考えて対応していこうというクラブもあるし、いろいろなクラブがあったように思います。それはクラブのひとつの特徴で、それぞれのクラブの考え方があって、それに対してそのクラブのメンバーの考え方でやっていくことが一番大切かと思います。今よく言われています「**DEI (Diversity,Equity,Inclusion)**」、この考え方を皆さんがどのように考えどのように進めていくか。多様性の時代に入っております。それをメンバーが認識してそのクラブにおいてどのやり方が自クラブで取り入れられるか、これを皆さんとお話をして一緒に取り組んでいくというひとつの未来を考えたやり方、これが「DEI」。継続性・将来性を考えてやっていけば、皆さんの意向が各クラブで取り組む一端になるかと思えます。女性会員ゼロのクラブもあるだろうし、また逆に女性ばかりというクラブもできるかもしれません。ローターアクトの問題もありますし…ローターアクトクラブは一般の（ロータリー）クラブと同じ位置になったということで RI から話が来ています。それを見ますと**ローターアクトクラブは、半数以上を女性会員が占めるクラブが多い**ようです。それを考えるとこれからの方向性としては、「女性会員（比率）を 30%に増やす」と RI 会長・ジェニファアさんがおっしゃっていますが、今後も続いてくるかと思えます。三井ガバナーエレクト、いかがでしょうか。

三井ガバナーエレクト／まず 1 点ですが、ローターアクトクラブについては 2550 地区には現在 4 つあります（宇都宮東 RAC、作新学院大学 RAC、蔵の街とちぎ RAC、足利東 RAC）。4 つのうち 2 つが学校の学生さん主体、2 つが社会人主体、そういう意味では少し扱いが違うので難しいなというのがひとつあります。それと同時に、宇都宮東 RC

が（提唱クラブとして）2つ持ってくれていますが…宇都宮東 RC の会計報告・決算は見たことがありませんが、結構ローターアクト（クラブへ）の予算をとっていると思うんですね。ローターアクトはロータリアン（と同等）として入っているの、ロータリアンとしての教育をどうするのかということと同時に、あまりにも提唱クラブがお金の負担をしていると続かなくなってくるということもあるので、このあたりを来年度はローターアクトクラブの方々に話をしながら、また委員会の方々や提唱クラブの方々と話しながら、少しでも提唱クラブの財政的な点について余裕をもって（負担が）少なくて済むように持っていきたいと思い、実は今いろいろな形で画策しております。

佐貫ガバナー／ローターアクトクラブへの支援に関しては、経済的なものは今まで多かったですが、規定審議会でローターアクトクラブの位置が変わったこともありまして、そこには「自立」という表現が出ており、各ローターアクトクラブが自分たちで運営をしていかなければならない、という時代になりました。ただそうは言っても、今までその経験はないし、ロータリーの知識もある程度は持っていますが、やり方などをお示しながら一緒に歩いていける方向性が出てくるかと思えます。経済的な支援は一緒にやっていきたいと今年度も思っていました、次年度もぜひ…長くはできないかもしれませんが、何年かは続けてローターアクトクラブが自立することを願って支援していただきたいと思います。



三井ガバナーエレクト／最終目標は、やはり「自立」ですからね。

佐貫ガバナー／ローターアクトの活動は我々と一緒にやれば、我々（ロータリアン）が今まで培ってきた奉仕活動のやり方（を伝えられる）、ロータリーの会員は年配の方も多ですし高齢者のクラブもありますので、そういう（ロータリー）クラブとローターアクトクラブのマンパワーを一緒にやっていくことによって、より良いまた楽しいロータリー奉仕活動ができるかと思えます。

三井ガバナーエレクト／ありがとうございます。私のほうもそのあたりを一番注意しながら運営していきたいと思っております。

佐貫ガバナー／R I のほうから強く言われていることの一端で、ポリオプラス・10月24日のポリオデーについての活動もということで、現実的にはコロナの問題でなかなか活発にはできなかったという点もありますが、次年度においては少し前向きな歩みができるかと思えます。

三井ガバナーエレクト／ありがとうございます。これにつきましては、（国際ロータリー理事会の）佐藤理事もポリオデーの時に何らかの行動を起こしてもらいたいということを盛んにおっしゃっていますし、先日の講習会でもそのようなお話がありました。また10月には日経新聞に全面広告を出す予定だということをはっきりとおっしゃっていました。そうするとやはり、うちの地区でも何かを考えていかなければならないということになりまして、昨年の（活動実績）を見てみたら鹿沼 RC さんが中心になって地区の5～6クラブが一緒になって活動をしていていました。テレビで放映されたものの録画をお借りして、ことあるごとにそれを視聴しながら次年度の人たちにこういう活動をやりたいということをお話しています。具体的には6月に私の名前で招集した「ガバナー補佐会議」の時に、（ロータリー）財団委員長と私でこのあたりをクラブで、あるいはグループで何かやってもらいたい、ということをしかり話をするにしています。

佐貫ガバナー／ポリオは確かに継続性の必要な奉仕活動で、これからも長く続くという点もありますが、ポリオを絶滅させるという意向でR I は取り組んでいます。本当に、もう少しというところまで来ていることも事実です。やはり会員のお力をいただきながら、それに対してのご寄付をいただくことも大切なことです。その点、ポリオに対しての寄付もありますが、（使用すると一部がポリオへの寄付につながる）「ロータリーカード」を使ってみるなどの活用

の一端が出てくるかと思えます。ポリオの件は、継続的にお願いしたいと思えます。

三井ガバナーエレクト／今回、今年度から年間 100 ドルの寄付をしていく「ポリオプラスソサエティ (PPS)」の話が始まります。それも、メンバーになってくれる人数を少しでも増やすように財団委員長と話をしており、6 月中旬の委員会からスタートしたいと思っています。

佐貫ガバナー／「活動してください」と言いながらも、それだけの資金がないと R I のほうで（活動が）できないということも事実なので、ポリオについて我々会員が理解して、それに対してみなさんと協力していくということが大切かと思えます。



R I から話を出してきている「DE I」についても、委員会を作ってくださいなどいろいろと出ているかと思えますが、やはりロータリーというものの将来性・先を考えていくと必ず変化していかなければロータリーは先がない、ロータリーばかりではなくて自分の会社もそうですが、世の中は**変革**があって**進歩**が出てくる、その進歩の中に調和が出てくる…それが前進の一端かと思えます。「DE I」は、良い変化・変革を生むための不可欠な考え方だと私は 1 年間言って参りましたが、それを取り入れていくことによって**ジェンダー**の話、人種差別…他国においては人種差別がメインかと思えますが、日本においてはまだまだ男性・女性のジェンダーの話もありますし、性別におけるジェンダーも表に出てきています。ですから、このあたりもやはり会員はお互いに理解していかないと解決していかないとこころかと思えます。各クラブで会員同士のコミュニケーションをとりながら話し合いをしていただけると、一歩前に進めるかと思えます。地区としてはひとつの方向・取り組みをお示しいただけるとまた違ってくるかと思えます。

三井ガバナーエレクト／このジェンダーを含めた件につきましては、たしかガバナー月信に第 9 グループの IM 報告が載っているかと思うのですが（ガバナー月信 Vol.9 に掲載）、かなりいい意味での反響がありました。LGBT (について) の話は聞いているし、当たり前ですがテレビなどでも放映されています。でも、なぜその人がそうなったかという話をまともに聞くことは、まずないんじゃないかというのが私たちの発想でした。それを今回、全部お話してもらったわけです。

佐貫ガバナー／これからは確実にやはりそのようなことに対しての社会的な面も出てきていますし、我々もそこを外して前には進めないということを認識しながら歩んでいかなければならないと思えます。

まただいぶ日本は遅れていますが、**IT 化**とか**DX** (デジタルトランスフォーメーション) に対する取り組み、私もスタートさせてもらいましたが、まだまだこれからもっともっと変革していく (必要がある) 1 点かと思えます。これは上手に取り組んで使うことによって、ロータリアンがどんどん前に進めることも考えられると思うので、各クラブにおいて取り組んでいただけることを期待しお願いしてきました。できましたら次年度も、その点をお願いしたいと思っています。

三井ガバナーエレクト／DX については、今年度の (2550 地区ソーシャルメディア並びに IT 推進委員会) 武田委員長からもご提案がありまして、次年度は…市井さんが委員長をやってくださいますが…名称を「**DX 推進委員会**」にすることに決まりました。正式には 7 月 17 日の諮問委員会・運営委員会できちんと決定しますが、中身は「DX 推進委員会」としまして、スタートします。ただ、問題は内容なんです。どのようにやるかをディスカッションしている最中です。

ガバナーエレクトをやっていて、「ガバナーって大変だなあ」と思ったのは、ガバナーってひとりなんですよね。つまり、右手・左手がないんです。もちろん、佐貫ガバナーの場合は今、橋本さんという地区幹事さんがいらっしゃるんですけど、地区幹事と右手・左手は少し意味が違います。例えば会社の経営で言えば、実務的なものをやってもらえる人と、経営相談にのってもらえる人、そういう人がいると思います。そうするとガバナーというのは意外と、今後どうしようかという相談にのってもらえるような人が周りにいないんですよね、割合ひとりなんですよね。事務的なことについては地区幹事さんがやってくれるけれど。私も経験者ですが、「ガバナー補佐」っていう方は10名いらっしゃるけれど、この方々にもうちちょっと私が考えていることを理解していただいて、動いていただいてもいいのかな、と。もっと活躍できる方はたくさんいらっしゃるの、その方々にいろいろと相談しながら、「このグループで何とかしていただけないか」などというふうに来年は持っていきたいと思っています。

佐貫ガバナー／今、三井さんがおっしゃるとおり、ガバナーになりますと右腕になる方がなかなか…。ただ私の場合には、地区幹事とか地区会計長とか、またここにいる月信の方々から意見をいただきながら、あとはパストガバナーの方々や諮問委員会もそうですが、こういう方々からのご意見もいただきながら、最終的にはガバナーが決めなければいけないと言われますが、それを考えると孤独になるというのも事実かと思えます。ですから、皆さんでガバナーをサポートしていただきたいし、当然私も7月からはパストガバナーとなりますので、ご支援させていただきたいと思っています。ガバナーが展開しやすいように、周りがサポートすること、ただ「あーだ、こーだ」ということばかりではなく、具体的にお話をもっていく。それが整合性のとれた皆さんに受け入れていただけるような（活動につながり）、「DEI」を検討しながら取り組めるようにサポートしていきたいと思っています。どうぞ次年度、頑張ってくださいと思います。お願いいたします。

三井ガバナーエレクト／責任の重さだけを感じて、がんばります！！

佐貫ガバナー／2550 地区の会員の皆様、月信・この動画を1年間見ていただきましてありがとうございました。はじめは慣れないこともありまして、画像を皆さんに（見てもらえるように）持っていったらいいか、またおんぶにだつて月信委員の方々にも大きな役割を果たしていただきました。非常に難しいところがあったかと思えます。また、お見苦しい点もあったかと思うのですが、内容的には一生懸命やらせていただきました。次年度については、この動画も大変なことなので、三井さんのお考えでやっていただければと思いますので、どうぞそのところは皆さんにご理解をいただきながら、1年間無事に月信を発信できたということで御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

三井ガバナーエレクト／ご苦労さまでした。

佐貫ガバナー／三井さん、今日はどうもありがとうございました。次年度頑張ってください。

三井ガバナーエレクト／ありがとうございます。本当に責任がだんだん重くなりました。

（お二人とも素敵な笑顔で対談を終りました。ありがとうございました。佐貫ガバナー年度・月信委員会）





強化月間 委員長特別寄稿

『親睦活動月間に 因んで』

うちやまひろし

内山 浩志

クラブ奉仕 委員長（宇都宮陽南RC）

毎年6月はロータリー親睦月間になります。
そこで「ロータリー親睦」の意義について述べさせていただきます。

ロータリーの原点は「親睦と奉仕」と言われており、創立当初は「親睦」を目的としてスタートしました。1905年2月23日、ポールハリスはあらゆる分野の職業人たちが集まって互いの知恵を共有し合い、生涯に渡って友情を培うことができるためのロータリークラブを設立しました。その後たくさんの仲間たちが集まったならお互いの商売を利用し、利益に繋がたらどうかという発想すなわち物質的相互扶助という考え方が起こったそうです。

ここでロータリーの原点に着目してみると、ロータリークラブの存在価値や意義は生涯に渡る友情を培うための場所であるということになります。さらに会員が毎週開催される例会に参加しお互いに師となり徒となつてその中で奉仕の心を学び自己研鑽を重ね、それをロータリー運動の一つの柱とし、ロータリアン同士の真の友情を裏打ちされたあらゆる活動に活かしていくことがロータリークラブでは「親睦」と定義付けされています。

しかし会員の中には「親睦」と「親睦活動」を混同してしまう方が多いようです。飲み会やゴルフなどの親睦会に参加することは「親睦活動」に参加することであり、ここで述べる「親睦」とは全く意味の違ったものになります。もちろん親睦会や趣味の活動さらにはレクリエーションに参加することは重要だと思いますが、「ロータリー親睦」を深める場所は週に一度の例会であることを私たちは忘れてはいけません。またそれぞれのクラブにおいて新入会委員が入会すると親睦活動委員長に配属されます。これは会員相互の親睦を深める活動に従事することにより、少しでも早くクラブに溶け込めるよう期待できる委員会だと思います。

そして最後にロータリーに入会後12年の退会理由として、①クラブに溶け込めなかった ②期待したほどの親睦がなかった。さらに入会後35年の退会理由として、①期待するほどの親睦がなかった ②クラブのリーダーに不満を感じた、というデータを見てみると、まずは人と人との心の繋がりが大切になり、その繋がりを通して親睦がより一層深まり、退会を未然に防ぐことでロータリー活動が円滑になっていくと思います。

04 「ロータリー親睦活動」月間 特別企画

各クラブでどのような親睦活動を行っているのか？それぞれのクラブの方に聞いてみました！

『私のクラブの親睦活動』

鳥山 RC

親睦・ロータリー家族委員 関口忠司

コロナの影響でやや低調になっていましたが、2023.5.8 に感染症法上の扱いが 5 類になったこともあり、復活第一号として 5. 16 に夜の例会が開催されました。今回は公共イメージ向上もかねて、4 月に人事異動となった新聞社の支局長を、そしてコロナの影響で呼びできなかった前々支局長まで呼びしての親睦会でした。コロナ以前ですと、交換留学生や、小中校の卒業式の季節に学校推薦で選ばれたロータリー賞受賞者やその父母を招いてのお祝いの会で飲食をともにしました。季節ごとに、春は桜を愛でながら、ロータリー年度末には新旧執行部の慰労を兼ねて、夏には暑気払い、秋は落ち鮎を頂きながら、年末はクリスマス会兼チャリティーオークションで会員の親睦を深めています。親睦の場は例会場が夜には名物のそばを提供する恰好の親睦会場となりますが、時には移動例会として、地域を離れて地元を見直すような機会も設けられています。

宇都宮西 RC

親睦委員長 小口忠史

2022-2023 年度、感染症対策を踏まえた新しい様式の中で、親睦活動を通じて会員同士の交流を深め、フェロウシップを育む空気を醸成していきました。今年度は、会員同士の交流だけではなくご家族を招いての納涼家族会、年忘れ家族会なども復活することができ、職業の垣根を超えた親睦活動が開催できたのではないかと思います。また、コロナ禍では新入会員のロータリーへの理解が難しく、親睦活動を通じて理解してもらうために、活動の中に新入会員の方々が壇上に上がる機会を設けるなどの工夫を講じてきました。親睦活動を通して、新旧会員が交わる時こそ、ロータリーアンになったことの喜びを実感できる大切な場面だと思い、親睦活動に取り組んでおります。

宇都宮陽東 RC

クラブ奉仕委員長 野村剛久

私たちのクラブは今年度創立 30 周年になりました。

5 月に 30 周年記念行事を行いました。サブタイトルが「家族にありがとう、30 年」です。このタイトルにあるように、それぞれのご家族様にロータリーを理解してもらい、ご家族参加型の催しを企画して、ご家族同士の親睦も図っております。30 周年記念式典はもちろんの事、家族納涼祭、クリスマス例会などに参加をいただいております。

他地区や他クラブとの交流では地区の行事に積極的に参加をしており、親睦を深めるという視点では地区親善野球の参加は大きいと思います。気さくにお話ができる場が多いという事が理由の一つです。その他にはゴルフ大会や RLI など、クラブ同士では三陽・さつき合同例会など。又、2 月におこなった「ベトナムへの汗かき奉仕」では、マニー社を介してハノイにあるロータリークラブと交流させて頂きました。

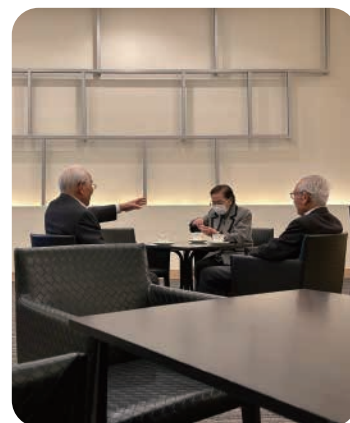
会員同士では趣味クラブを活用した親睦、3 か月に 1 度例会の席順変更に伴うテーブルミーティングなどを行っております。以上、ありきたりな事ですが陽東の絆は意外と強いと感じております。よろしく願いいたします。



宇都宮陽北 RC

会長 熊本泰久

宇都宮陽北 RC では、親睦を深める活動として、テーブルミーティング・6つの愛好会活動・先輩会員のロータリーモーメント（きっかけ）卓話を行っています。ロータリーの親睦（fellowship）は、単なる友情ではなく、ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識と言われます。ロータリアンは例会で、奉仕の心を形成すべく勉強と努力を重ねます。親睦は、その過程で育まれると言われます。ある時、例会前の友愛コーナーで創立会員が3人静かに珈琲を飲んでいました。長年にわたりクラブ作りに尽力された戦友同士の一コマです。独特の空気感。幸せと信頼と安堵が漂います。この雰囲気醸し出す関係こそ目指す親睦のその先なのでしょう。アフターコロナのクラブ親睦活動の第1歩として、自分の心を開くことを始めてみてはいかがでしょうか？先輩会員が率先して、例会やテーブルミーティングの際に、ロータリーモーメントをお話されてはいかがでしょうか？



宇都宮陽南 RC

親睦委員長 阿部

クリスマス家族会を数年ぶりに行いました。家族や子どもたちも参加して、とても楽しいイベントでした。ビンゴゲームは特に盛り上がり、参加者たちは熱心に数字をチェックし、景品を獲得するために真剣勝負を繰り広げました。また、会員のバンド演奏も素晴らしく、会場に音楽の楽しさがあふれました。このような機会では、会員たちも家族やお子様と一緒に過ごし、交流を深めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。ロータリークラブに参加することで、同様のイベントに参加する機会が増え、地域の人々と交流し、社会貢献活動に参加することができるという魅力があります。今後も、ロータリークラブを通じて、さまざまな活動に参加し、社会に貢献することができるよう、努力していきたいと思っております。



鹿沼 RC

親睦活動委員長 若松伴睦

私の所属する鹿沼ロータリークラブは、60余名程の会員数です。本年度、親睦活動委員長を拝命しまして、あらためて考えたのは、「会員間、特に世代間の親睦活動の大切さ」です。普段の活動の中では、自然と世代別に別れた会食や活動にもなりがちです。しかし、実働世代にとっては、先輩方の貴重のご経験を伺う機会はとても大切です。そこで、例会時にはなるべく世代が偏らないようにお座りいただきます。また、夏の納涼例会やクリスマス会では、世代を超えて楽しめる音楽を皆で聴いたり、最終の特別例会でも、マジシャンを呼び、皆で童心に還りながら同じものを楽しみ、親睦を図りたいと思っております。

私が入会した当初、先輩方から「ロータリーは奉仕と親睦が2つの大切な柱。」と言われたことをよく覚えております。これからも、世代を超えた親睦を図りながら、先輩方のお知恵やご経験に学びつつ、ロータリーの奉仕活動を楽しんでいきたいと思っております。

栃木南RCではロータリー活動の土台である親睦活動を通じ、会員間の絆を深め、より楽しいロータリー実現の為、邁進しています。今年度8月の納涼例会では佐渡島一泊旅行を企画し夏の日本海を満喫いたしました。十月の月見例会では琴とバイオリンの演奏者をお招きし、和洋折衷の音楽を楽しみました。十二月のクリスマス例会は栃木RC様にもご案内させて頂き、会員交流の中、歌って踊ってのビートルズのタベとなりました。三月の花見例会は東京日帰りバス旅行を桜満開の中挙行し、目黒川の花筏等、桜いっぱい旅行となりました。五月の親睦旅行では舞鶴、天橋立、城崎温泉、鳥取砂丘等を二泊三日の日程で満喫させて頂きました。また第6グループ野球部の活動では、2550地区野球大会や甲子園親睦野球大会参加を通じグループ内の親睦も深めております。最後に今後も適度な予算配分と適度な実費負担を会員各位に御理解頂き、充実した親睦活動を行ってまいります。

足利わたらせ RC

2023年3月10日～11日にかけて、親睦委員会・職業奉仕委員会の合同による、「SDGs研修旅行」を実施いたしました。まず、群馬県みどり市大間々町の「近藤酒造」を見学、酒つくりを学び、しぼりたてのお酒を試飲させていただきました。SDGsの取り組みとしては、休耕田の活かすために、近隣の休耕田を利用してお米を栽培し、酒つくり利用されているとのことでした。きりっとした飲み口で辛口の清酒「赤城山」を、より美味しく感じるようになりました。親睦委員会では、見学後、伊香保温泉・ホテル小暮にて、温泉三昧に懇親会と久しぶりにゆっくり、親睦を深めることが出来ました。翌日は、「伊香保おもちゃと人形 自動車博物館」や「八ッ場ダム」、「なるほど！やんば資料館」の見学を行い、長年かかった壮大なダムを見学し、資料館にてダムの構造や完成までの流れも知ることが出来ました。会員の親睦を深める、楽しい時間を共有することが出来ました。



私は足利東ロータリークラブに入会して 12 年になります。長い公務員生活からリタイアし、一民間人として第 2 の人生（税理士業）に就活しましたが、ふと気が付くと今まで、世間・つまり、地域との付き合いが皆無であった自分に気が付きました。

ですから、公務員としてお世話になった世間に対して何かを報いたいという気持ちがあき、自治会活動や税理士業を通じてのロータリー用語の職業奉仕？に目覚め？そこに、業界の先輩からロータリーへ入会すれば、ゴルフと酒が飲めるよといわれたことが、大変不謹慎ですが、入会のきっかけでした。

そこには、親睦委員会が、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、そして、国際奉仕委員会がありました。当初、今でもよく理解できていませんが、いずれにしても「ロータリークラブ」とちょっとなじみ薄そうでしたが、楽しそうなクラブ、楽しみながら地域と接触できるという印象でした。

まさに、ロータリーの原点は「親睦と奉仕」と言われる所以を後で知ったものでした。

さて、6 月はロータリー親睦月間（Rotary Fellow-ships Month）です。会員同士の友情、友愛を育むための親睦活動を推進する月間です。そこで、足利東の「親睦と奉仕」振り返ってみました。

親睦の原点である会員・家族におけるところの季節ごとの親睦・懇親、研修会を起点として、足利東のインター・ローターアクトを取り込んだ足利東の 3 つの大きな奉仕活動があります。

- ① **20 年も続いている「こころみ学園訪問カレー例会」**
- ② **震災以降現在も続いている石巻東 RC との友好クラブとしての相互の親睦活動**
- ③ **2001 年から続いているフィリピンへの医療無料奉仕団の派遣**

足利東ロータリークラブもコロナ禍でありましたが一昨年 60 周年を迎えることができました。「親睦・奉仕」も約 3 年間のブランクもありましたが、国際奉仕活動も、4 月のフィリピン・6 月のタイ王国への親睦奉仕活動の再開に向けての現地視察等打合せ等も開催されております。まさに、再開の年度です。

我々のロータリークラブの「親睦奉仕」活動は会員・例会・地域の中に身を置きながらも、グローバルな展開も考慮に入れた奉仕事業を行っていききたい。

2023 3/19 (SUN)

行事実施報告

会長エレクト並びに幹事エレクト研修セミナー 開催報告

PETS・SETS実行委員長
小曾戸 健治 (葛生RC)

令和5年3月19日(日)、葛生あくとプラザにおいて2023-2024年度(三井福次郎ガバナー年度)の会長エレクト並びに幹事エレクト研修セミナーが、葛生ロータリークラブをホストに開催されました。今回は、会長エレクトと幹事エレクト研修セミナーが同時に開催されました。

13時30分の開会セレモニー後、PETS・SETS向けの、三井ガバナーエレクトからの地区役員・委員の紹介、佐貴ガバナーより開催にあたっての挨拶、そして三井ガバナーエレクトよりRI会長のテーマと方針そしてガバナー方針と映像を用いての丁寧な説明がありました。休憩をはさみ、会長エレクトは大ホールにて、幹事エレクトは小ホールに移動しての研修に入りました。

会長エレクト研修セミナーの部では、栃木秀磨地区研修リーダーよりロータリーの基本となる「ロータリーの目的」について映像を用いての詳しい説明が有りました。その後、茂木弘司次期会計長より次年度地区資金予算について説明があり、三井ガバナーエレクトのもとで承認されました。続いて、各ガバナー補佐と各会長エレクトの顔合わせが短い時間でありましたが、次年度に向けての絆が多少とも深まったのではないのでしょうか。

幹事エレクトセミナーでは、武田文夫ソーシャルメディア&IT推進委員長による「クラブ運営とDX、マイロータリーについて」の説明等が行われ、会長の補佐としての役目や、クラブでの運営の仕方等、こちらも映像を用いての説明が詳しくありました。質疑応答も積極的にあり、次年度に向けての思いが強く伝わってきました。その後、休憩をはさみ、大ホールにて会長エレクト・幹事エレクト合同の研修となりました。

各委員長より持ち時間5分の制限の中ではありましたが、端的な説明を頂きました。会長・幹事エレクトの皆様にも思いが伝わった事と思います。次年度を迎えるに当たり、不安がある事と思いますが、この研修セミナーを受けて、いくらかでも払拭できたのではないのでしょうか。

最後に、栃木秀磨研修リーダーより講評を頂き閉会となりました。短い時間での研修となりましたが、皆様の次年度のロータリー活動が円滑にそして実りある事を願います。また当日は、各ロータリークラブの会長エレクトの皆様が全員出席されましたことを、ご報告させていただきます。





2023年3月25～26日の2日間、標記研修会が行われ、当地区からは、代表の千葉と幹事の大森が参加いたしました。当日の会場は、金沢歌劇場にて行われました。

一日目は開会式から始まりました。開会式終了後、我々は大集会室にて、代表者会議に参加いたしました。ここでは、第一号議案として第36回全国ローターアクト研修会（第2800地区）、第二号議案として第37回（第2660地区）、第三号議案として第38回（第2750地区）の開催に関する議案について討論が行われました。いずれの地区も、よりよい全国ローターアクト研修会を目指すため丁寧に計画を立てられておりました。また、ご参加された地区の代表者も、我々含め全研に対する強い思いを持ち、熱く議論が行われました。

2日目は中間式から開始となりました。中間式は、次年度開催となる第36回全国ローターアクト研修会の開催地区となる第2800地区の紹介や、各地区のエレクト紹介が行われ、大いに盛り上がりました。

中間式終了後、メインプログラムが行われました。メインプログラムでは、金沢市長村山卓様による講演会、各ローターアクターによるパネルディスカッションが行われました。

講演会では、「10年後の金沢」と題して、村山様より金沢の今後について熱く語られておりました。現状の金沢の課題や魅力、それらを踏まえた今後の金沢の魅力度向上計画など、現在の金沢の内容を深く知ることのできる内容となっております。

パネルディスカッションでは、「未来の話」と題して、選出されたローターアクターの皆さまによるディスカッションが執り行われました。皆様一人ひとりが自身の未来とローターアクトの未来を照らし合わせ、今後我々がどのような課題を抱えるべきかについて、熱い討論が行われました。

二日間を通して、第2550地区ローターアクト代表として私が感じたことは、地区間の違いはありますが、私たちは同じローターアクターである、ということでした。各地区で協力し合うことで、一つの地区では成し遂げられないことができる可能性を感じ取ることができました。



【姉妹クラブ締結40周年記念例会開催報告】

3月30日（木）17時15分よりフォーシーズン静風にて、真岡ロータリークラブと台湾斗六扶輪社（RC）の姉妹クラブ締結40周年記念例会を開催しました。

記念例会には、当クラブ会員、国際ロータリー第3470地区斗六扶輪社の会員と家族、石田順一前年度ガバナー、第3470地区呉中仁前年度ガバナー、石坂真一真岡市長、林聖爵斗六市長、真岡西クラブ会長幹事さらにパストガバナー補佐、斗六市と交流のある皆様にご臨席をいただきました。例会において両前年度ガバナー、両クラブの重鎮パスト会長から祝辞を賜りました。

1983年5月14日斗六扶輪社と姉妹クラブを締結し交流を深めてきました。1993年には両クラブが懸け橋となり、真岡西中学校と斗六正心中学校による姉妹校締結という成果をもたらしました。さらに真岡市と斗六市の行政間の交流も始まりました。

ここ三年、新型コロナウイルス感染拡大の影響により相互訪問が進まない状況が続きましたが、斗六扶輪社張勝超会長と会員の来訪により、面前での記念例会を開催出来ました。

第二部、懇親会は両市長からの祝辞、両クラブの前年度会長による乾杯の音頭により、久方ぶりの対面での旧交を温めるべく交流の輪が会場いたるところで出来ていました。この光景を目の当たりにして一日も早く感染拡大前の日常が戻ることを願うばかりです。

新型コロナウイルス感染者が減少に転じ規制が緩和されてきましたが、感染の不安が残る中、姉妹クラブ締結40周年記念例会が開催出来ましたことは、ひとえに関係者の皆様のご協力とご配慮の賜物と感謝申し上げ開催報告といたします。

【斗六扶輪社創立41周年記念式典訪問報告】

5月10日斗六市に7名で訪問してきました。

11日斗六扶輪社創立41周年記念式典に出席し、会員個々に旧交を温める良い機会を持ってました。記念式典には退会したご高齢の元会員、今年度と昨年度の地区ガバナー、近隣のロータリークラブの会員等多くロータリアンも参加し盛大に行われました。

当日の午前中には真岡市と斗六市の友好都市締結の調印式典に真岡RCと斗六扶輪社の会員も招待され参加しました。式典に斗六正心中学校と姉妹校である真岡西中学校の生徒による一糸乱れぬダンスの録画も流され、花が添えられました。

正心中学校も訪問したため、校長先生を初め学校関係者の皆様大変忙しい思いをさせていただきましたが、有意義な時間を持つことができました。

両市が本日を境として今まで以上に、産業・文化・教育・スポーツ、観光等多くの分野において広く市民間の相互交流や両市の親善、振興をとおした交流が深まること、実りあるものとなることをご期待し、斗六市訪問報告といたします。





4/16 SUN

行事実施報告

RI 第 2550 地区ガバナー主催

第 25 回親善野球大会 実施報告

RI 第 2550 地区ガバナー主催 第 25 回親善野球大会 実行委員長 金子昭彦 (鹿沼 RC)

2018年に開催されました第24回大会から、大雨・コロナ禍を経て2023年五年振りに第25回大会を開催する運びとなりました。2月17日には代表者会議を開催し、会則の一部変更と昨年ご逝去されました森玄房大会会長の後任に長正英様の就任が満場一致で採択されました。4月14日の前々夜祭では佐貫直通ガバナー・三井福次郎ガバナーエレクト・市田登ガバナーノミニで臨席の元、和やかに、時には大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごす事が出来ました。4月16日の本大会では前日からの雨による影響も懸念されましたが鹿沼 RC の精鋭による懸命なグラウンド整備により時間通りに開催することが出来ました。久しぶりの大会と云う事で看護師の方にも待機頂きましたが大きな怪我も事故も無く楽しくお過ごし頂けた事と思います。当日は鹿沼ケーブルテレビも取材に訪れ、地域へのロータリークラブ活動の広報の一助にもなったかと思えます。試合結果は、Aブロック優勝[鹿沼RC]・Bブロック優勝[宇都宮南RC]となりました。閉会式終了後に参加チームの皆さんで記念撮影、次年度ホスト[宇都宮西RC]さんに備品の引継ぎをさせて頂き散会となりました。最後にご参加頂いたロータリアンの皆様・鹿沼市野球連盟様・関係各位に感謝申し上げます実施報告とさせていただきます。



行事実施報告

第 2550 地区クラブ活性化セミナー 開催報告

“規定審議会とロータリーの柔軟性”

4/23 SUN

2020-22 年度地区研修リーダー 中谷研一 (足利東 RC)

クラブ活性化セミナーが、令和5年4月23日(日)、ベルヴィ宇都宮で開催された。

講師：国際ロータリー第2620地区

パストガバナー高野孫左エ門氏 (ご略歴および詳細は地区ホームページ (HP) の講演資料参照)

ロータリーは「変革の時」と言われている。特に国際ロータリー (RI) は規定審議会を通して「柔軟性」を推進している。今回のセミナーでは、規定審議会におけるロータリーの「柔軟性」の経時的な流れとその目的を考え理解し、クラブに伝達することで地区内クラブの活性化を目的とした。

(1) セミナーの内容

総論では「ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観、ビジョン声明、DEI」等の観点から、ロータリーの価値観とは、価値観を伝承するため「心構え・戒め」等意識革命が必須であり、活動を継続するための「変化の認識・変化の対応」について熟考する必要があると述べている。

- 1) 規定審議会については、ロータリーの組織規定を協議する最重要会議で、会員1人ひとりがルール作りに参加する義務があると説いた。
- 2) 元気なクラブを目指すには、ロータリーの「柔軟性」を理解する必要がある。ロータリーについて個々で「学ぶ (Learning)」事から1人ひとりが「考える (Facilitation)」事で各クラブが「行動する (Take Action)」事を可能とし、行動する事でクラブ会員に「帰属感 (Belonging) や「幸福感 (Wellbeing)」が生まれる。その結果「互いに思いやる心」が醸成される。最終的には、クラブを積極的な行動へ導く力が生まれ元気なクラブへの成長を可能とした。またクラブ運営には、推奨クラブ細則にクラブの意思を反映させることが重要で、その結果会員の帰属意識を増強させることを可能とする。
- 3) DEI に関しても、5項目について見識を示され、柔軟性の目的は「学ぶことから考える事へ転換し行動することで会員1人ひとりが帰属感や幸福感を共有する。その結果、インクルーシブなクラブ文化を創造する」とことと説いた。
- 4) 今後の研修方法に関しては、従来の講演方式からアイデア交換を通じた研鑽の機会とする可能性が大きい。今後は自己学習が重要であり、アクティブラーニング等の研修が主流となる可能性が示唆された。

日曜日午後の開催であったが地区内クラブから100名を超える参加者があり講演後活発な質疑応答が行われた。反面、数グループでは参加者が非常に少なく、該当グループ所属の会員諸氏へ有益な情報伝達を逸した点非常に残念な思いがした。今後は研修の機会を逸することなく新しい知識の習得に努めて頂くとともに、参加者は必ずクラブに持ち帰りクラブに伝達するといった地区文化の形成を図りたいと考える。



4/29 (SAT)
第34回関東ブロック研修会 参加報告
ローターアクトクラブ 地区代表 千葉奈央也

2023年4月29～30日の2日間、ウィリング横浜において、関東ブロックローターアクト所属11地区の研修会が開催されました。当地区からは代表の千葉のみ参加いたしました。

開会式の直前に、友好地区のPR動画がモニターにて映し出されました。第2550地区の映像、写真も使用され、会場の雰囲気盛り上がりを感じました。

当日は、5人一組でテーブルが用意され、各地区ばらつきがあるようにセッティングされておりました。開会式終了後、アイスブレイクと題して、メインプログラム前のレクリエーションが行われました。ゲーム形式の自己紹介や、スマートフォンのアプリを利用したクイズなどが行われ、初対面の皆さまとの緊張をほぐすきっかけとなりました。

メインプログラムは、関東の魅力を見出すことを目的とし、各テーブルが一つのチームとなり、指定された関東の都県のポスター作成及び発表が、2日間にかけて行われました。スマートフォン使用禁止という条件の中、皆様が知恵を絞り合い、ポスターの作成に取り掛かりました。私が参加したチームの担当は、茨城、栃木、群馬でした。北関東に関する知識を持つ人物が私一人であったため、私が持つ知識を存分に生かし、作成に取り掛かりました。

2日間を通して、私は友好地区の皆さまがとにかく楽しそうに活動に参加されていることに感銘を受けました。第2550地区も、今よりさらに楽しく活動できるような環境を作ることができたら、よりよい地区となると感じました。

5/20 (SUN)

行事実施報告

宇都宮陽東ロータリークラブ 創立30周年を迎えて

宇都宮陽東ロータリークラブ 創立30周年記念式典 副実行委員長 橋本正行

1993年4月14日に、宇都宮東ロータリークラブをスポンサークラブとしまして誕生しました当クラブは、本年30周年を迎えることが出来ました。比企達男パストガバナーから、「国際奉仕をして一人前のロータリークラブ」との指導を頂き、この5年間「汗かき奉仕」として地域奉仕はもちろん国際奉仕を行ってまいりました。一人前となった今回の30周年は、記念式典、記念行事、記念祝賀会と盛り沢山の内容となりました。

今回の30周年の目的に「ロータリークラブの社会的責務と社会的地位」、スローガンに「家族にありがとう 30年」を掲げ、宇都宮陽東ロータリークラブらしい創立30周年を祝いました。

まず記念式典は、社会的責務としまして、栃木県、宇都宮市、米山記念奨学会へ寄付を行い、同時に、5年間に地区およびクラブ内で貢献のありました会員の表彰を行いました。

また記念行事として行った、テレビ等にも出演されている光琳寺の井上広法住職と12年ぶりの抜てき真打の落語家・三遊亭わん丈師匠の高座バトルは、「家族」をテーマとした内容で、非常に中身の濃い、素晴らしい内容のバトルでした。

感謝の「謝」は、「言」と「射」に分かれ、言葉で相手の心を射抜くようにしないと行かないと言われ、一同納得をした次第でした。

三遊亭わん丈師匠は、さすが15人抜きで真打を決めた実力者の落語に、ただただ聞きほれてしまいました。

同時に盲導犬協会の方々にもお越しいただき、盲導犬を育てるのに約500万円掛かるとのお話や実演も行われ、今回は寄付だけでしたが、新たな理解と支援の必要性を感じた時間でした。

記念祝賀会は、当クラブ会員の親戚でありますバイオリニストのオープニングから始まり、ジャズの街宇都宮ならではのジャズ演奏で会の雰囲気盛り上げました。

宴のお開き近くには、会員から感謝の花束をご家族に贈り、「家族にありがとう 30年」を実践いたしました。

出席頂いたご来賓から、「創立30周年のお祝い会は、時間的に5時間の長丁場でしたが、時間を感じない内容でしたね」との言葉も頂き、また出席されたご家族の笑顔が見られまして、今回の記念式典一連の評価が頂けたと思いました。

今後も、地域や家族に対し、質の高い奉仕活動を実践していく思いを持ち、散会しました。





「家族にありがとう30年」をスローガンとした宇都宮陽東ロータリークラブ記念行事が令和5年5月20日に開催された。発足より30年経過、当クラブも働き盛りの年齢を迎え社会的地位を確固たるものとし、その責務を果たしつつあるクラブに成長した。

阿部健三会員を実行委員長・橋本正行会員を副実行委員長のもと記念式典・記念行事・祝賀会が100名に及ぶ関係者・家族参加のもと盛況裡に開催されたことは、初代会長の私として誠に感無量なるものがあり、ご尽力された各位に深甚なる敬意を表す次第であり、加えて増淵貴之会長・名村史絵幹事の年度方針に沿った記念行事でもあり、今更ながら我がクラブの一体感を確信したところである。

また、参席された三井福次郎ガバナーエレクトから「いままでロータリー記念行事に数多く出席してきたが、このような大勢の家族が参加され盛会にかつ有意義に開催された行事は初めて」との感想を聞き、感激の至りであった。

私自身も昔懐かしい人達と久しぶりに面談することができ、懐旧談に花が咲いた至福の一刻であった。

今後も当クラブの基本姿勢を堅持しながら、佐貫ガバナーの地区方針を堅持し、理解し、実践し、家族とともに社会的地位の向上を目指し発展することを祈念いたし感想の一端といたしたい。寸感



新入会員紹介



すずき だいすけ

鈴木大介

西那須野 RC

2023年4月1日入会

鈴木電機株式会社
代表取締役

皆様と共に活動できること嬉しく思います。どうぞよろしくお願い致します。



ひらいけ かずまさ

平池一雅

佐野東 RC

2023年4月26日入会

関東旅行株式会社
代表取締役

よろしくお願い致します。



かとう かずひろ

加藤和洋

宇都宮南 RC

2023年3月29日入会

株式会社新和
代表取締役

みなさまのためにこれから永らくロータリーにつくしていきます。



こんの たかひろ

今野貴広

宇都宮南 RC

2023年5月17日入会

株式会社足利銀行
江曾島支店 支店長

4月より宇都宮南ブロック統括支店長に就任致しました。ご指導お願い致します。



やまぐち のりたか

山口典孝

鹿沼東 RC

2023年5月10日入会

株式会社山口製作所
代表取締役

地域に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



くらすわ やすゆき

倉澤安行

鹿沼東 RC

2023年5月10日入会

株式会社マルイテクノ
代表取締役



いがわ やすのり

井川康紀

真岡 RC

2023年4月20日入会

株式会社足利銀行
真岡支店 支店長

宜しくお願い致します。



よしだ ひであき

吉田英明

大田原 RC

2023年5月25日入会

株式会社足利銀行
大田原支店 統括支店長

今回初めてのロータリークラブの入会です。ご指導の程宜しくお願い致します。



ながお よしなお

永尾吉哉

壬生 RC

2023年4月1日入会

株式会社足利銀行
壬生ブロック 支店長

社会奉仕に努めてまいりたいと思いますので、ご指導お願い致します。



物故会員

追悼

安楽 之孝 あんらく ゆきたか

2023年2月11日逝去（享年84歳）

所 属 壬生ロータリークラブ

1980-81年度 チャーターメンバー
年度不明 第6グループガバナー補佐

1991-92年度 2019-20年度 会長

1987-88年度 幹事

1981-82年度 職業分類委員長

1982-83年度 広報委員長

1983-84年度 1985-86年度 会員増強委員長

1984-85年度 2016-17年度 2017-18年度 社会奉仕委員長

1986-87年度 2013-14年度 国際奉仕委員長

1989-90年度 2000-01年度 2010-11年度 ロータリー情報委員長

1993-94年度 2012-13年度 2022-23年度 職業奉仕委員長

2001-02年度 2008-09年度 米山奨学会委員長

2003-04年度 2008-09年度 ロータリー財団委員長

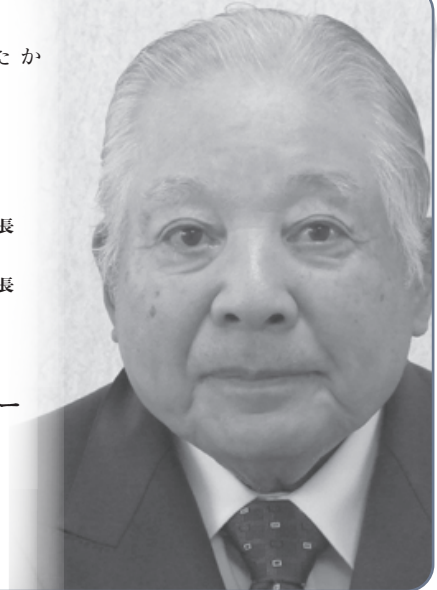
2004-05年度 新世代奉仕委員長

2014-15年度 2018-19年度 クラブ管理運営委員長

2015-16年度 奉仕プロジェクト委員長

2020-21年度 2022-23年度 会場監督

財団：ボールハリスフェロー
(PHF) 5回



追悼

岩崎 正日登 いわさき まさひと

2023年4月22日逝去（享年64歳）

所 属 宇都宮陽北ロータリークラブ

地区青少年交換委員会 委員 (2011-12～2017-18) 7年間

地区青少年交換委員会 委員長 (2018-19～2022-23) 5年間

クラブ 幹事 (2007-08)

クラブ 会長 (2015-16)

クラブ25周年 実行委員長 (2019-20)

マルチプル PHF (1回)

PHF (2008-09)

米山功労者 (2007-08, 2014-15) 2回



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆

ロータリー特別月間

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 (ロータリーの友月間)	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 (米山月間)	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

9月・10月には、日本独自の月間テーマが設定されています。○内

22-23年度 23-24年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	コンセーレ	地区青少年交換委員会
6	11	日	高校生RYLAセミナー	宇都宮文星女子高等学校	地区RYLA委員会
6	11	日	RLIセミナー パートI	コンセーレ	地区RLI委員会
6	13	火	22-23年度地区青少年奉仕部門合同委員会	ベルヴィ宇都宮	地区青少年奉仕委員会
6	15	木	23-24第1回ガバナー補佐会議	ベルヴィ宇都宮	
6	16	金	第2回インターアクト合同会議	ホテルニューイタヤ	地区インターアクト委員会
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
7	17	月 (海の日)	23-24第1回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
7	17	月 (海の日)	23-24第1回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
7	23	日	クラブ米山委員長会議	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会
8	5	土	第27回インターアクト年次大会 (ホスト: 作新学院高校)		
8	18	金	米山記念奨学会指定校対象説明会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会
10	13	金	第26回親善野球大会前々夜祭	未定	
10	15	日	第26回親善野球大会	未定	
10	27	金	地区大会記念ゴルフ大会	唐沢ゴルフ倶楽部 三好コース	ホスト: 佐野東RC
11	3~4	金~土	RYLAセミナー	ホテルニューイタヤ	地区RYLAセミナー
11	5	日	米山記念奨学会カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会
11	11	土	2023-24 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ホテルサンルート佐野	ホスト: 佐野RC
11	12	日	2023-24地区大会 本会議	佐野市文化会館	//
11	25	土	米山記念奨学会 面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮	地区米山記念奨学会
12	2	土	田沼ロータリークラブ60周年記念式典		田沼RC
12	10	日	2024学年度 米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会
12	17	日	第2回諮問委員会(予定)	宇都宮市内	ガバナー事務所

国際ロータリー第2550地区4月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数							40歳未 満	
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減		
第1グループ	大田原	3	24	21	0	2	0	3	-3	1	0
	黒磯	3	33	35	1	0	3	1	2	3	0
	西那須野	3	47	48	1	1	3	2	1	3	0
	黒羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0
第2グループ	大田原中央	2	24	22	0	0	0	2	-2	1	0
第3グループ	烏山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	2
	氏家	3	23	22	0	1	0	1	-1	2	0
	矢板	2	10	8	0	1	0	2	-2	1	0
	馬頭小川	4	21	18	0	0	0	3	-3	0	0
第3Aグループ	高根沢	3	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	宇都宮	4	105	94	0	2	4	15	-11	3	1
	宇都宮西	4	68	66	0	1	3	5	-2	0	2
	宇都宮北	4	41	44	0	0	3	0	3	0	1
	宇都宮90	4	45	42	1	2	1	4	-3	5	2
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
第3Bグループ	宇都宮陽北	4	46	48	2	1	5	3	2	9	9
	宇都宮東	4	113	110	0	0	2	5	-3	0	3
	宇都宮南	4	57	55	0	0	2	4	-2	8	1
	宇都宮陽東	4	49	49	0	0	1	1	0	9	0
	宇都宮陽南	4	23	23	0	0	1	1	0	7	4
第4グループ	宇都宮さつき	4	26	27	1	0	1	0	1	4	2
	真岡	4	54	52	1	2	2	4	-2	0	0
	益子	4	31	31	0	0	0	0	0	2	0
	真岡西	3	39	39	1	1	1	1	0	5	0
第5グループ	下野上三川	4	19	19	0	0	0	0	0	3	0
	小山山	3	22	21	0	0	0	1	-1	1	0
	小山南	4	14	16	0	0	2	0	2	2	0
	小山東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0
第6グループ	小山北	4	23	22	0	0	1	2	-1	0	4
	小山中	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	栃木	4	47	48	1	1	3	2	1	5	0
	栃木西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0
第7グループ	岩舟	2	10	9	0	1	0	1	-1	0	0
	壬生	3	17	17	0	0	2	2	0	1	0
	栃木南	4	40	39	0	0	0	1	-1	9	1
	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0
第8グループ	鹿沼	4	65	65	0	0	0	0	0	2	2
	今市	2	41	42	0	0	3	2	1	1	1
	鹿沼東	4	37	38	1	0	3	2	1	5	0
	鹿沼中央	4	17	17	0	0	0	0	0	2	0
第9グループ	今市きぬ	2	27	29	0	0	2	0	2	0	0
	足利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0
	足利東	3	30	32	0	0	5	3	2	2	0
	足利西	3	11	11	0	0	0	0	0	1	0
第10グループ	足利わたらせ	4	35	31	0	0	0	4	-4	0	0
	佐野	4	55	54	0	0	1	2	-1	0	0
	葛生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0
	田沼	4	44	44	0	1	4	4	0	0	0
48RC	佐野東	2	21	22	1	0	2	1	1	2	0
			1654	1630	11	17	60	84	-24	112	37



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造 (川口モーニング)

間もなく新年度がスタートします。

新年度に入る準備として、クラブ活動(年度)計画書に記載のクラブ定款は、2022年度版のものになっているのでしょうか？

2019年度版や2016年度版、さらにはそれ以前の古いクラブ定款のままになっているクラブはありませんか。またクラブ細則も新しい定款に添ったものに変更されているでしょうか。

クラブの委員会構成はクラブ細則に沿ったものになっているのでしょうか。

クラブ定款・細則で、2022年の規定審議会で変更になった部分には、下線をいれておくと会員の皆さんも分かりやすいのではないのでしょうか。

クラブ細則は、クラブ独自のものでクラブの特徴を表しているのでしょうか。

また、毎年変更されているのでしょうか。

所在地域は、正しい表記になっていますか。以前の区域限界のままの表記になっていませんか。

さて、昨年度の2022年規定審議会では、人頭分担金の度重なる値上げが採択されました。また、日本から提案された事務総長に関する立法案が否決されましたが、それぞれの地区を代表する皆さんが集まって規定審議会で決めたことだから仕方がない、と端らから諦めていませんか？

クラブは規定審議会によって採択された立法案に対し、反対の意思表示をすることが出来ます。クラブからの有効投票のうち5%相当のクラブの反対票があった場合、採択された立法案の効力は一時保留となります。その後一時保留となった立法案に対しクラブとして賛否を投票し、反対票が過半数を超えた時は、規定審議会で採択された立法案は一時保留の日にさかのぼり無効となります。決して規定審議会の決定が最終ではないということです。

2022年の規定審議会の結果については8件の立法案について反対票がありました。「人頭分担金を増額する件」への反対票が一番多く402票でしたが、一時保留にするには2,632票が必要でしたので及びませんでした。

次の規定審議会は2025年です。どのような立法案が採択されるか分かりませんが、規定審議会の決定におかしいと嘆く前に、クラブ内で検討しクラブとしての意思表示を出して見ませんか。



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心）

2020年7月-23年6月の3年間第1地域のRPICを務めさせて頂きました。この原稿は5月に書いておりますので、任期は1カ月と少し残っております。

2020年の3月中旬にエバンストンにおいて開催予定の地域コーディネーター研修に参加する準備をしている時に、「RIはCOVID-19について万全の対策をしているので安心してシカゴに来て下さい」とのメールを受信し、数日後に中止のメールを受信するという劇的な変化を体験しました。国内では安倍総理がコロナ対策で小中学校の春休みを1週間前倒しにすると発表していた頃だったと思います。私と同期の第2地域の服部陽子 RPIC、服部良男 RRFC はエバンストンでの研修を受講すること無く、その任に着きました。

幸い、第3地域を担当しておられた山下皓三 RPIC が1年先行して RPIC を務めておられたので、山下リーダーを中心に Zoom を使ったオンライン会議で密に連絡をとりながら活動計画を練りました。

任期1年目は、3地域の各地区の公共イメージ委員長にアンケートをお願いした後、オンラインでの3地域合同での委員長セミナーを実施しました。RIの行動計画と公共イメージ向上、ロータリーのブランド、公共イメージ向上の例として世界ポリオデーなどについて説明しました。開催日の二日前の8月27日にWHOがアフリカでのポリオ根絶の宣言を発表しましたが、新聞記事の中に国際ロータリーの名前は一切出て来ませんでした。ロータリーのポリオ根絶活動については私達ロータリアンが一般の人々に伝える努力をしなければならない事を痛感しました。

任期2年目は、辰野 RI 理事（2022年当時）が日本経済新聞にロータリーの1面広告を掲載してロータリーの紹介をしようと提案され、10月22日の世界ポリオデーの直前に記事が掲載されました。また、日本の幾つかの地区が世界ポリオデーに向けて大きなイベントを実施して下さいました。

任期3年目は、佐藤 RI 理事が、日本の津々浦々で各ロータリークラブが世界ポリオデーに向けてのイベントを実施するよう推進しようと提案され、10月18日に日経の1面広告を掲載し、世界ポリオデーのフォトコンテストを実施しました。

任期中の3年間はコロナ禍の中でリアルでのセミナーが開催出来ず、担当地区の皆様と直接お話しする機会は少なかったですが、オンラインの会議を通じて各地域の公共イメージ委員長、ガバナー、ガバナーエレクトとの方々、そして各地域の ARPIC の方々と繋がり、沢山の支援を受けました。フォトコンテストにおいては、ジェニファージョーンズ RI 会長、イアンライズリー R 財団管理委員長、佐藤 RI 理事、三木 R 財団管理委員に写真の選定をして頂くなど、大きなイベントに繋げることが出来ました。関係各位のご支援、ご協力に感謝申し上げますと共に、公共イメージ向上のご理解が進むことを願っております。



「世界でよいこと？」



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 四宮 孝郎（大阪西南）

たった26ドル50セントの寄付から始まった基金の設立。

1917年のアトランタ国際大会においてRI会長アーチ C.クランプ氏の「世界でよいことをしよう」との提案に、カンザスシティロータリークラブが呼応して拠出したものでした。

1928年に「ロータリー財団」と命名され現在でも発展し続けていますが、「世界でよいこと」をする大きな第一歩の財団プログラムは1947年の「国際理解を育む」ことを目的とした19名の各国からの学生に対する大学院留学の為に奨学金の提供でした。

その後、1978年より補助金プログラムとして3H（Health 保健・Hunger 飢餓追放・Humanity 人間性尊重）プログラムが創設され、現在のグローバル補助金へと繋がっています。

1985年から始まったポリオ根絶プログラムは世界中の子供たちの命を守る事ができ、大きな成果を上げていますが、全世界でポリオフリーが宣言されるまでロータリーの最優先事項であることはご承知のとおりです。

1999年には財団は「平和および紛争解決の分野における国際問題研究」の為にロータリーセンター（平和センター）の設立を果たしました。2002年の第一期生以降、多くのロータリー平和フェロー達が巣立って世界で活躍されています。

2013年から開始されたDG（地区補助金）・GG（グローバル補助金）により財団のプログラムも大きく変わりましたが、2022-23年度では654件のGG・259件の災害救援補助金が「世界でよいこと」の為に活用されています。

直近のトルコ・シリア大地震などの自然大災害が世界各地で発生し、支援活動が様々な形で実施されています。ウクライナ問題に対する支援活動も今後ニーズに合ったものが求められ、継続して実施していかなければなりません。又、その他の紛争地域に対するロータリーとしてできる支援活動も求められています。

「女児のエンパワーメント」「メンタルヘルス」に対する取り組みも始まっています。

ロータリー財団の歴史にあるように、その時に私たちに求められているものを把握して、ロータリアンである誇りと自信を胸に「世界でよいこと」を実現できるための種をこれからも皆様と共に蒔いてまいりましょう…



1. ベトナム南米山学友会が誕生！海外 10 番目

ベトナム南部、ホーチミン市を中心とする「ベトナム南米山学友会」が5月9日の常務理事会にて正式に承認され、海外10番目となる米山学友会が誕生しました。創立会員は28人、初代会長はホーライフーンさん(1973-75/桐生西RC)、副会長をタイヴァンナムさん(2007-11/千里RC)が務め、その他1人の会計、2人の監事、7人の理事、計12人の役員で運営されます。



ホーライフーン会長は「5月9日はわれわれにとって記念すべき日となりました。これから皆で一層団結し、世

の中、人々のため、頑張ってやっていきたい」と、意気込みを語りました。

ホーチミンでは2014年から米山学友がグループを形成し、児童・障害者・高齢者のための福祉施設への慰問などさまざまな奉仕活動の実績があり、今後さらなる活躍が期待されます。

2. 寄付金速報 — 今年度も残り1カ月半 —

前年同期比

+ 5.9%

普 - 1.1% 特 + 9.6%

4月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:9.6%増)、約6,960万円の増加となりました。送金が遅れてい

た普通寄付金の納入も回復し、2,088のクラブからご送金いただきました。また特別寄付金も創立記念寄付として17クラブから合計270万円という多額のご寄付をいただき、厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ1カ月半となりました。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

3. 米山学友が中心となった衛星クラブが誕生

第2680地区(兵庫県)で米山学友を中心とする衛星クラブ、宝塚ユニバースロータリー衛星クラブ(スポンサークラブ:宝塚RC)が3月6日付で認証を受け、正式に誕生しました。衛星クラブとは既存のクラブの中に作られるクラブで、8人の会員で結成が可能です。衛星ク



ラブ会員はスポンサークラブの正会員ですが、独立して例会を開き、細則や理事会も独自のものとなります。

同衛星クラブは10人の創立会員のうち8人が米山学友で、麦嘉輝さん(2017-18/尼崎西RC)が初代議長。毎月第1・第3火曜日の19時からオンラインで例会を開催します。

麦さんは、「クラブ名の『ユニバース』には『全世界、全人類』という意味を込めました。この多国籍な米山学友が集まったクラブの多様性を生かし、多くの仲間を集め、自由に討論を重ね、ともに世界や地域社会のための奉仕活動を積極的にしていきたいです。これから有志の仲間を増やして活発に活動していきます」と、意気込みを語りました。

4. さいたま大空RCが創立10周年！

米山学友と財団学友によって設立されたロータリークラブ、さいたま大空RC（第2770地区）の創立10周年記念式典が4月22日、さいたま市内で開催され、創立当時のガバナー・渡邊和良氏のほか、恵川一成特別代表、クラブの成長を見守ってきた歴代ガバナーや地区米山関係者などロータリアン、学友ら約90人が祝福にかけつけました。

同クラブは2013年に設立され、創立会員全員が財団学友と米山学友という特色あるクラブです。15年度からは毎年欠かさず海外への教育支援、医療支援を実施しており、今年度はインドネシア・キルギス・モンゴルを対象に国際奉仕活動を行いました。

今回の式典は駅に隣接した商業施設内広場で行われ、クラブ名に象徴されるように、見上げれば大空が広がる会場での開催となりました。はじめに記念講演として、公益財団法人埼



玉県国際交流協会の職員2人と、大宮シティRC会員の谷垣智之弁護士が登場。続いて、クラブ会長のチャンコントゥアンさん（2008-10/幸手RC）の開会点鐘、来賓祝辞、拡大特別委員長と特別代表への感謝状贈呈、ロータリー財団と米山奨学会への寄付金がそれぞれの部門委員長へ手渡されました。同クラブがこれまで

行ってきた国際奉仕活動の検証ビデオでは、現地から感謝の声が次々と届けられ、約10年間にわたる貢献の喜びを共に噛みしめました。

10周年記念事業として阮潔実行委員長（2016-18/川口モーニングRC）から「モン

ゴル全国規模図書室設立プロジェクト」が発表されると参加者から拍手喝采が沸き、オンラインで参加していたモンゴル米山学友会のナサンバヤル ボロルマー直前会長（2011-12/矢板RC）が代表して感謝を述べました。

5. 新奨学生の抱負「米山奨学生の名に恥じぬよう」

4月から新年度が始まり、新規奨学生として採用された648人の米山奨学生が全国各地で新たなスタートを切りました。多くの世話クラブが新規奨学生を迎え、カウンセラーとの対面、オリエンテーションや例会の参加などで奨学生が歓迎を受ける中、新たな環境で挑戦が始まる米山奨学生、韓国出身の韓熙那さん（2023-25/和歌山アゼリアRC）に意気込みと、これからの抱負をお伺いしました。



【韓熙那さん】

4月に初めて和歌山アゼリアロータリークラブの例会に参加させていただきました。毎週のように

例会で集まり、さまざまな奉仕活動が行われていることを目の当たりにし、とても素敵だと感じました。参加する前は何を話せばいいのか少し不安でしたが、ロータリアンの方々から気さくに話題を振ってくださり、リラックスしてコミュニケーションをすることができました。おかげで、親睦を深めることができ、とてもほっとしています。

これから積極的にクラブ行事などに参加し、日本についてさらに理解を深めていきたいです。米山奨学生の名に恥じぬよう、学業にも全力を尽くしてまいります。私がこうして学業に専念できることは、皆さまからのご支援があってこそ、という感謝の気持ちを忘れず、多くの方の役に立てる人材になれるよう努力してまいります！

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)



Paul Harris Fellow ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ
小林 博	馬頭小川
小林 勇一	馬頭小川
益子 和弘	馬頭小川
齋藤 正雄	馬頭小川
高野 弘文	馬頭小川
薄井 健博	馬頭小川
篠原 浩	鹿沼東
小田部 敏也	鹿沼
檜山 和行	益子
山納 五月男	益子
高根澤 良一	益子
豊田 有子	益子
鴨田 修	真岡西
松山 国夫	真岡西
山本 正	真岡西
青木 圭太	真岡
大森 貴之	真岡
柳田 耕太	真岡
和泉 卓哉	西那須野
君島 基子	西那須野
梅村 悟志	西那須野
柳場 美枝子	西那須野
橋本 卓雄	小山東
深谷 明生	下野上三川
吉原 妙子	下野上三川
大島 準	田沼
中島 喜代典	栃木
伴 誠	宇都宮東

氏名	クラブ
三菅 敦	宇都宮さつき
永井 紀好	宇都宮さつき
湯澤 敦史	宇都宮さつき
小保方 明美	宇都宮南
三木 純	宇都宮西
高村 一昭	宇都宮西
秋本 薫	宇都宮
池田 宰	宇都宮
金山 典生	宇都宮
小島 克之	宇都宮
関口 快太郎	宇都宮
和気 幸雄	宇都宮
田中 純一	今市
篠原 眞美	壬生
鈴木 洋一	壬生
川口 篤史	大田原中央
日下野 幸男	佐野東
横井 帝之	佐野東

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

Multiple Paul Harris Fellow

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ	回数
深澤 寿	馬頭小川	1回
田島 良久	馬頭小川	1回
見目 博克	鹿沼東	2回
根本 茂	鹿沼東	2回
渡邊 欣一郎	鹿沼	1回
市田 登	鹿沼	2回
五月女 豊	鹿沼	2回
鈴木 良男	鹿沼	6回
日下田 正	益子	2回
富田 兵哉	益子	4回
樋口 昂亮	真岡西	4回
水澤 進	真岡西	4回
鈴木 定男	真岡西	4回
田上 貴	真岡西	4回
金子 正男	真岡	1回
篠原 宣之	真岡	5回
寺崎 貴志	西那須野	1回
渡邊 将宏	西那須野	2回
鈴木 明裕	西那須野	3回
益子 浩	西那須野	7回
高橋 正晃	西那須野	2回
中尾 聡	小山	1回
古澤 繁	佐野	1回
亀山 滋	佐野	3回
公文 初江	下野上三川	3回
飯島 満	田沼	2回
川田 守	田沼	2回
福富 正浩	栃木	1回
金子 立	氏家	1回
荒牧 州弘	氏家	2回
吉成 容一	氏家	4回
大関 秀明	宇都宮90	2回
藤田 克彦	宇都宮北	1回
大音 正信	宇都宮北	1回

氏名	クラブ	回数
関根 則次	宇都宮北	1回
二十二 修	宇都宮北	4回
佐伯 秀利	宇都宮北	4回
佐々木 隆	宇都宮南	1回
若林 博純	宇都宮南	3回
村田 宏明	宇都宮南	4回
仲田 俊夫	宇都宮南	5回
大上 仁志	宇都宮西	1回
村上 龍也	宇都宮西	4回
中島 祥二	宇都宮西	4回
里村 佳行	宇都宮西	4回
村井 邦彦	宇都宮西	1回
寺田 美智子	宇都宮陽北	1回
西山 穰	宇都宮陽北	2回
黒崎 行雄	宇都宮陽北	3回
荒井 規雄	宇都宮	1回
金子 昌郎	宇都宮	1回
加藤 幸夫	宇都宮	1回
三柴 富男	宇都宮	1回
明賀 一博	宇都宮	1回
渡邊 幸雄	宇都宮	1回
石島 洋	宇都宮	2回
久保井 一臣	宇都宮	3回
粉川 昭一	今市	1回
狐塚 秀幸	今市	1回
福田 政一	今市	4回
堀井 正喜	今市	5回
丹野 洋	黒羽	1回
刀川 清満	壬生	2回
藤沼 孝幸	大田原中央	3回
栗原 勉	小山南	6回
村野 幸寿	佐野東	1回
恩田 勉	佐野東	1回

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

Benefactor

ベネファクター

氏名	クラブ
遠藤 計二	田沼
仲田 陽介	宇都宮北
仲田 俊夫	宇都宮南
仲田 真介	宇都宮陽北
熊本 泰久	宇都宮陽北
永井 治寿	葛生
橋本 徳雄	栃木南

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます



米山功労者 2022.12～2023.4



氏名	クラブ	回数
岡川 光佑	宇都宮西	24回
鈴木 徳郎	宇都宮西	1回
辻 裕司	宇都宮東	7回
長谷川 博夫	宇都宮南	1回
小塚 照夫	宇都宮南	2回
坂井 俊司	宇都宮南	2回
市原 久典	宇都宮南	3回
田中 正夫	宇都宮南	7回
金田 秀壽	宇都宮南	7回
徳原 龍樹	宇都宮北	1回
藤田 克彦	宇都宮北	2回
仲田 陽介	宇都宮北	2回
中村 雄三	宇都宮北	2回
田村 吉幸	宇都宮北	3回
二十二 修	宇都宮北	4回
佐伯 秀利	宇都宮北	9回
西根 恵子	宇都宮陽南	5回

氏名	クラブ	回数
熊本 泰久	宇都宮陽北	1回
安生 昌史	宇都宮陽北	1回
仲田 真介	宇都宮陽北	3回
黒崎 行雄	宇都宮陽北	4回
藤井 モト	宇都宮陽北	6回
長 正英	宇都宮陽北	7回
関塚 保雄	葛生	1回
相子 正幸	葛生	1回
酒庭 和一	葛生	7回
福島 秀治	葛生	7回
三井 福次郎	佐野	15回
磯野 信次郎	佐野	22回
篠崎 博司	佐野	40回
鈴木 幸男	佐野	5回
旭岡 靖人	佐野	6回
後藤 俊一	佐野	6回
菊澤 洋之	佐野	8回

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます



米山功労者 2022.12～2023.4



氏名	クラブ	回数
野澤 充	鹿沼	1回
人見 哲史	鹿沼	1回
渡邊 欣一郎	鹿沼	2回
日向野 博史	鹿沼	2回
奈良部 幸子	鹿沼	2回
日向野 脩弘	鹿沼	3回
黒田 雄一	鹿沼	4回
大出 孝三郎	鹿沼	6回
石川 健一	鹿沼中央	7回
前田 裕之	鹿沼東	2回
大島 知	鹿沼東	3回
吉村 繁	鹿沼東	4回
高橋 剛	小山	3回
坂井 秀伸	小山	7回
館野 敏	小山	7回
和泉 卓哉	西那須野	1回
小関 栄	西那須野	2回
大原 栄	西那須野	8回
阿由葉 寛	足利わたらせ	3回
石黒 隆夫	足利わたらせ	3回
栗原 順一	足利わたらせ	5回
飯島 能武夫	足利わたらせ	6回
中谷 研一	足利東	14回
鈴木 利男	足利東	2回
板橋 信行	足利東	5回
峰崎 武明	田沼	2回
飯島 満	田沼	3回
川田 守	田沼	3回

氏名	クラブ	回数
金子 重雄	田沼	5回
篠原 眞美	壬生	1回
鈴木 洋一	壬生	1回
高山 英城	壬生	2回
安楽 之孝	壬生	7回
高橋 一精	日光	4回
塩濱 茂夫	宇都宮西	8回
佐藤 宣人	氏家	4回
吉成 容一	氏家	5回
大森 貴之	真岡	1回
頼近 龍	真岡	2回
石川 久雄	真岡	2回
大越 正和	真岡	2回
柳田 耕太	真岡	3回
柳 浩雄	真岡	3回
篠原 泉	真岡	7回
藤生 浩貴	足利	3回
吉成 慶司	黒羽	11回
丹野 洋	黒羽	2回
坂本 瞭	黒羽	3回
大関 秀明	宇都宮90	2回
清永 幸伸	宇都宮90	2回
増田 智義	宇都宮90	2回
岸 広	宇都宮90	2回
保坂 正裕	宇都宮90	4回
粕谷 明弘	宇都宮90	6回
野田 和郎	宇都宮西	2回
大出 雄一	今市	1回



米山功労クラブ 2022.12～2023.4



クラブ	回数
宇都宮東	31回
宇都宮南	38回
宇都宮陽北	15回
葛生	32回

クラブ	回数
佐野	43回
鹿沼	44回
鹿沼中央	14回
鹿沼東	26回

クラブ	回数
小山	33回
田沼	14回
栃木西	26回
日光	11回

クラブ	回数
真岡	45回
足利	30回
宇都宮90	37回
宇都宮西	49回

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます



11

ガバナー 国際大会報告

2023.5.25. 国際大会 メルボルン

月信最後の月・6月となり、5月に開催された国際大会のお話をここに載せられますことをうれしく思います。

2019年から3年数か月、コロナ感染・対策対応で大きなダメージが出ていたコロナ禍の中で、今年5月になってやっと緩和されて、国際大会に参加することが出来ました。

今年度の国際大会はコロナが完全終結していない中ということもあって、会員の健康状況などにより少ない参加者となりましたが、元気なメンバーがご参加くださりました。これは次年度における準備になることと思います。

私も元気を出し、宇都宮陽東 RC の熊本範章君と羽田から出発しました。ロータリーは出会いであるとも言いますが、羽田には多くのロータリアンがいて、知り合いの方は気軽に声をかけ、知人の同行者たちも声をかけ合い、名刺交換や語り合いが出てロータリーの楽しさを実感しました。見知らぬ方、年輩者、若人でも差別なく語り合える素晴らしい光景があり、まさに「会ったらやぁと言おうよ」とのロータリーソングが思い起こされます。

他地区のガバナーたちも多く参加しており、ここでも情報交換が始まって、皆さんのロータリーへの思いの深さを感じます。搭乗手続き、申請・申告などで不安になっていると、声を掛け合ったり手助けしたりと、心の広さをもったロータリアンが多いことに気づきます。「ロータリー」って、本当に素晴らしいです。

メルボルンに着くと添乗員からの説明があり、自分で登録をした方は受付会場に行って受付を済ませ、登録証（胸にぶら下げるカード）を取りに行くことになっているとのこと。不安になっていたら添乗員が同行してくださり、電車の乗り方などを案内してくれてスムーズに登録証をゲット！帰りはご自分で…とのこと、ここでまたちょいと不安が走りましたが、このような場面で強いのが若いロータリアンです。スマホなどを使った情報取得が得意。スマホに地図を出しサポート、若い会員をロータリーに入れなければ先がない！と感じる展開でした。同行していただいた熊本君に、躊躇なく道案内・電車案内などしていただいた。旅の友、ロータリーの友、です。「有難う、助かった！！」

「ちょい散策しながら帰りますか」と言われ不安もあったが、気丈夫になれる若い力を発揮してくれている心強いロータリーの友に、「行きましょう！」と男2人で初めての街を散策…。そこで Rotary の素晴らしさがさらに！登録会場に行く道中声をかけてきた方の胸にロータリーバッジがついていた。ロータリアンだと気づく。電車の中、散策しているとき、もちろん会場でも、皆さん Rotary のメンバーが気軽に声をかけてくる。不安が楽しみに変わる体験です。ロータリーの楽しさを感じる、ロータリーって良いですね！

「井の中の蛙」と言いますが、日本という井戸の中にいると、日本の状況しか理解できない。でも、いったんその井戸を出ると、世界は大きく広がり無限大である。かつて私が、日本歯科医師会の理事役を執行していた時の記憶が戻ってきた。栃木県という井戸から出たら視野が広まり、さらに日本という井戸を出て国際社会を見ることになると、見識が変わる・広がる。多様性を理解できる。

皆さん、ぜひロータリーの国際的な見識に触れませんか。2022 - 23 年度の RID2550 地区・地区大会で、RI 会長代理としてお越しいただいた山崎純一パストガバナー（五所川原 RC）は、「ロータリーの基本は変わっていない」と仰っていました。「ロータリーの基本は変わっていない」…人と人との触れ合い、これこそロータリー！

日本人朝食会には500名のロータリアンが集まり、開会式には会場満席でロータリアンが15000人。会場の熱気が伝わり、感動を感じる光景・場面が次から次に…！素晴らしい国際大会でした。

素晴らしい体験をもう一つ、ぜひ皆さんに語りたいたです。

ロータリーのお土産と言ったら…国際大会のバッジでしょうか。持って帰るのに大きなものは重いものも…さあどうする？「そうだ、ロータリーバッジだ！」と思い、多くのロータリー関係商品がある友愛会場へ…と考え、熊本君の先導で案内さ

れつつ言われる通りスマホ案内で会場に。この途中でも見知らぬロータリアンから「こんにちは」の声が。ここで特にうれしいことが二つ！

一つは、友愛会場にオクトンブースがありバッジを求めに行ったら、「佐貫ガバナー、月信素晴らしいですね！」と声かけられ…あれ、何…？

RID2550は、今年度からペーパーレスで月信を発信させました。皆さんに毎月見ていただいているこの月信です。他地区のガバナーやロータリアンから「月信」のことで声をかけられることが多いですが、まさかここメルボルンに来てまで！月信に対する声、うれしいですね。苦勞して作ってくれている月信のメンバーに頭が下がる思いです。「月信委員の方々、ありがとう！」

もう一つは、やはり『出会い』です。友愛会場に行って看板の前で皆さんと写真撮っていたら、他国の数名のロータリアンから「日本からですか…？」と声かけられ、かたことの言葉で返事していたら、今度は突然日本語で、「私、日本に行っていました」と。聞けば、一年交換学生で留学していたフランスの方が「宇都宮にいました」と声掛けしてくれたのです。驚き嬉しい、感動！まさに Rotary の出会いです。

年度初め、皆さんに『Rotary を知って 活動に参加して 社会に貢献しよう』というキーメッセージを発信しました。その Rotary を、我ながら実感して帰ってきたわけです。国際 Rotary を再認識させられることになりました。

栃木・日本といった『井戸』に留まらず、ぜひ国際社会へみんな飛び込んでいきませんか！

次年度の国際大会はシンガポールで、2024年5月25日～29日の開催です。

- ・2025年6月21日～25日（カナダ・カルガリー）
- ・2026年6月13日～17日（台湾・台北）
- ・2027年6月5日～9日（米国ハワイ・ホノルル）

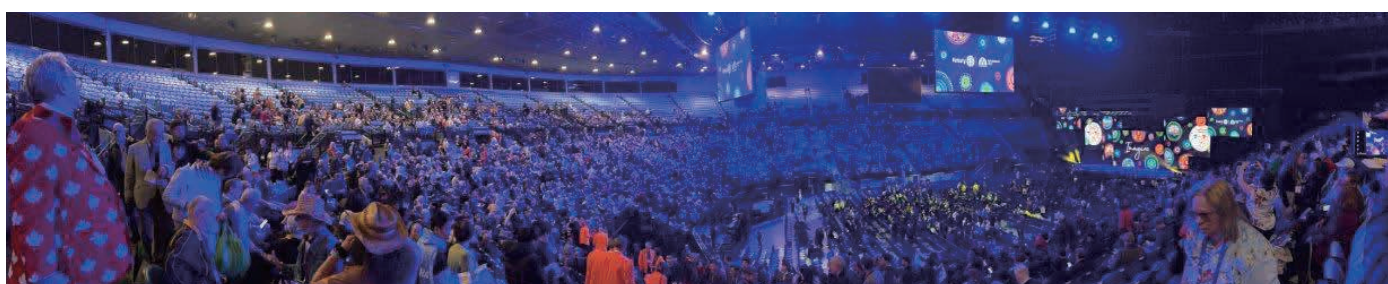
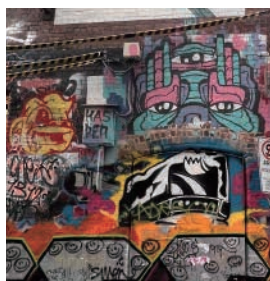
このように国際大会の予定があります。ロータリー活動の素晴らしさを実感できます。声をかけあって、皆さんで行きましょう！

ご参加下さった日本のロータリーの友人、他国からの参加で声をかけてくださったロータリアンの皆様、ありがとうございました。（そして、同行してサポートしてくれた熊本君に感謝！！）

※暫定情報ですが、国際大会ウェブサイトで見られます。（2023年5月29日現在）
ご確認ください。

<https://convention.rotary.org/ja-jp/2024-rotary-convention-singapore>

国際大会ウェブサイト





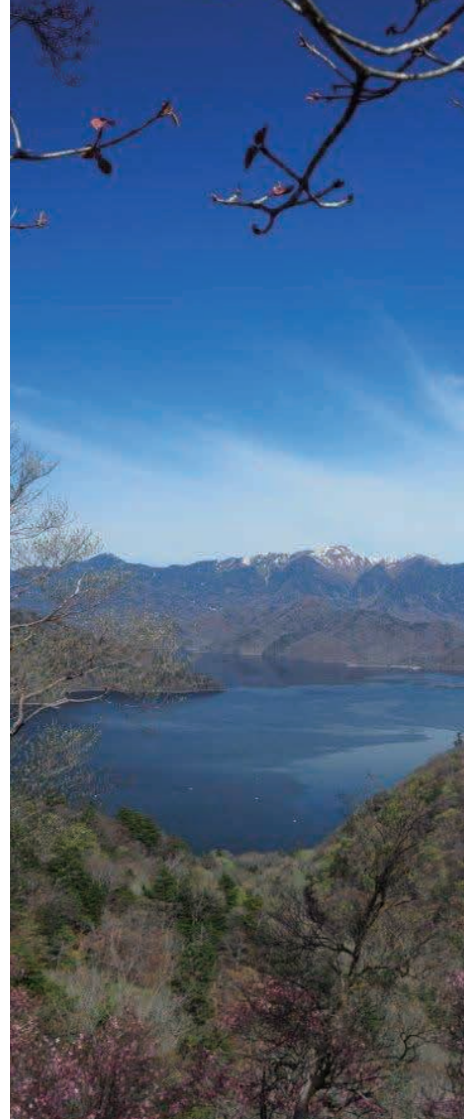
12

Governor's gallery
ガバナーギャラリー

写真撮影が趣味の佐貫ガバナー
季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



6月の風景 *Naomichi Sanuki*



13 編集後記



1年間、この月信をご覧いただき、感謝申し上げます。

次年度の三井ガバナー月信が、新しい風が入った月信となることをお祈りし、皆さんと一緒にこれからも月信を楽しみに拝見させていただきます。
国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー 佐貫直通

従来どおりの冊子形式にするか新たに配信形式にするかギリギリまで議論を重ね、ガバナーの方針に最大限沿えるような月信を制作していこうと新しい取り組みにチャレンジしてきました。集まった月信委員は、まだ入会2～7年ほどのロータリー歴が浅いメンバー。佐貫ガバナーのご提案でアドバイザーとしてチャーターメンバー1名が加わり、6名で企画・編集をしてまいりました。至らぬ点も多かったかと思いますが、たくさんの方々に原稿を寄せていただいたり動画に出演していただいたりと、たいへんお世話になりました。ご協力に心より御礼申し上げます。また、ガバナー事務所のおふたりにも多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

このような機会をいただき、ロータリアンとしてたいへん勉強になった一年でした！

2022-2023 佐貫ガバナー年度 宇都宮陽東ロータリークラブ・ガバナー月信委員 一同

はじめに、私が編集後記を書くのは場違いでは有りますが、1年間のガバナー月信の発行にさいしては当初多くの駄目だしをしようと目論んでいたのだが、誠に残念ながら月信担当会員全員が優秀で、何の不満もなく毎号素晴らしい出来栄に驚きをもってチェックしていました。佐貫ガバナーとは、宇都宮陽東RC同期入会ですが、その人柄をもってして私のもっとも敬愛し尊敬するロータリアンです。そのガバナーが発行する月信に僅かでもかかわれた事を嬉しく思います。

佐貫ガバナー1年間本当にご苦労様でした。そして、編集委員の名村会員 山口会員 齋藤会員 小平会員 越水事務局員各位の奮闘に大いに感謝しています。願わくば、DX推進への取り組みとして当地区で初めてのWeb配信した月信をお手元にダウンロードしていただきロータリアン各位の活動の一助となりますように。(アドバイザー 皆藤哲雄)

「文字」と「音声・映像」ではニュアンスや伝わり方が全然違う、と動画撮影を通して実感し、どちらの良さもお伝えできるようにと試行錯誤しながらの一年間でした。多くの方々にご協力いただき貴重なお話を伺えたことは、ロータリアンとして大きな財産になりました。そしてかけがえのない仲間と大きな使命を果たせたことも、とても幸せに感じています。ご覧いただいた皆様、ご協力・ご支援くださった皆様、本当にありがとうございました。(名村史絵)

今年最後の月信配信となりました。ガバナー月信をデジタルで！という試みに向かって昨年7月から始まり、あっという間の一年でした。佐貫ガバナーを中心にメンバーの皆さんと一年間活動し、力不足でしたが、色々勉強させていただきました。お忙しい中、資料提供や原稿をお寄せ下さった方々、ご協力頂きましたガバナー事務所の方、毎月閲覧してくださったロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。委員の皆さん、お疲れ様でした！！(齋藤恵美子)

語り合い、ふれあい、文字を通して伝え合う。私たちは、いろんなふうにつながることで、ようやく理解しあえるもの。なかでも文字は、良くも悪くも最も精製された媒介手段です。流れの中にキラリと光る輝きを、遠くから見つめるだけのような、校正というのはそんな仕事でしたが、ロータリークラブの精神が少しは分かったような気がした1年でした。貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。(小平晴史)

この1年、月信の作業を通じてロータリーに関しての知識を深めるとともに、この地区でロータリーに携わる皆様の活動と考えることができました。特にYouTubeでの撮影時、多くのロータリアンの声をその場で聞くことが出来たこと、貴重な経験でした。ありがとうございました。最後に、ガバナー事務所の皆さんを始め、編集にご協力いただいた皆様、一緒に作業をしてくれたメンバーに心からの感謝を！(山口雄子)

1年間月信の作成に関わらせて頂きました。特にガバナーメッセージの動画撮影では、企画・撮影・編集と、慣れない事も沢山ありました。しかしメンバーの皆さんと試行錯誤を繰り返し、毎回楽しく作業させて頂きました。何よりこの1年でロータリーの事をより深く知る事が出来、ロータリーの素晴らしさに改めて気付く事が出来ました。この素晴らしい活動を沢山の方々に知って頂きたいという思いで頑張りました。今後もこの月信を、より沢山の会員の皆様に見て頂きたいと強く思います。(越水香織)